

装備は万全ですか？

冬季、屋久島の山岳部では、積雪は2mを越え、
気温は氷点下まで下がります。雪山の装備が必要です。

心構え

十分な体力・技術・経験を備え、何よりも余裕を持った登山を計画してください。

初心者の方は必ず経験者やガイドに同行するようにしてください。

服装(防寒着)

速乾性・保温性に優れたインナー(綿は不適)、暖かなミドルレイヤー(ウール・ダウン・フリース)、防水透湿性に優れたアウターを着用してください。

ピッケル・ストック

岩場等の凍りついて、滑りやすい場所で必要な装備です。

スパッツ(ゲーター)

雪が深い場所で必要な装備です。

登山靴

保温性・防水性の高い、冬用登山靴が必要です。

保温性の高い、ウール等の厚手の靴下を準備することも忘れずに。

帽子・顔を守るもの

耳まで隠れるニット帽や目出し帽、雪焼けや吹雪対策にサングラスやゴーグルが必要です。日焼け止め・リップクリームも忘れずに。

ザックの中身

コンパス、地図、カイロに加え、エマージェンシーシート等の非常用装備も必ず持参してください。

携帯トイレ 屋久島マナーガイド



中身の一例

グローブ

防水性・防風性の高いオーバーグローブに、ウールやフリースの手袋を着用してください。予備も忘れずに。

アイゼン等

岩場等の凍りついて、滑りやすい場所では必須です。縄文杉登山ではチェーンアイゼン等、主稜線では6本爪以上のアイゼンがあると安心です。

チェーンアイゼン



ワカン



積雪量によってはワカンが必要になることもあります。

※山中泊を伴う縦走登山は、より多くの装備が必要です。